



# NAPA Steel カスタマイズトレーニング 各コースの詳細

# NAPA Steel カスタマイズの位置付け

## 目的

業務の効率化

製品品質向上

ノウハウの仕組み化

生成物の均質化

## 手段

モデリング  
要素の  
標準化

モデリング  
の  
自動化

図面作成  
の  
省力化

各種検討用  
データの  
自動出力

造船所固有  
業務の  
ツール化

## 要素技術

NAPA Drafting  
カスタマイズ

-----  
テンプレート (体裁・レイヤー)、スクリプト...

各種ライブラリの  
整備

-----  
構造タイプ、各種形状  
ライブラリ、適用設定...

NAPA Basic  
(マクロ)

-----  
便利コマンド、関数、  
テーブル、VARDEF  
ツール(入力フォーム)...

C#スクリプト  
(NAPA Designer  
カスタマイズ)

-----  
スクリプト言語、プラグ  
イン...

# カスタマイズトレーニング コース一覧

コース	受講により行えるようになること
構造モデリングの標準設定	<ul style="list-style-type: none"><li>標準設定を整備して、自社仕様に合致した構造モデルを<b>正確に、かつ効率よく</b>作成</li></ul>
独自のパラメトリック形状作成とStructure Libraryへの登録	<ul style="list-style-type: none"><li><b>極めて効率的に</b>構造モデルを作成</li><li>形状だけでなく、思想まで<b>正確な</b>構造部材を作成</li><li>NAPA Designer上で<b>直接3次元設計</b>を実施</li><li>境界の変更に形状が追従する、<b>変更に強いモデル</b>を実現</li></ul>
NAPA Draftingのカスタマイズと自動化	<ul style="list-style-type: none"><li>NAPA Draftingのテンプレートを整備して、自社仕様の図面を<b>正確に、かつ効率よく</b>作成</li><li>AutoCADスクリプトの利用により、手間のかかる図面作成作業を<b>自動化</b></li></ul>
NAPA Basicによる自動化（仮題）	<ul style="list-style-type: none"><li>NAPA Basicを用いた、各種作業の自動化</li></ul>
C#スクリプトによる業務効率化と高度化	<ul style="list-style-type: none"><li>C#スクリプトを用いて、各種作業を効率化・自動化できる</li><li>C#スクリプトを用いて、UI操作ではできないような高度な作業を行える。</li><li>C#スクリプトを用いるための前提となるNAPA Steelの基礎知識を理解できる。</li></ul>

準備中



# 構造モデリングの標準設定

## 本講座受講により行えるようになること

- 標準設定を整備して、自社仕様に合致した構造モデルを**正確に、かつ効率よく**作成

## トレーニングによる習得できる具体的な知識・スキル

- データベースの役割を理解し、使い分けることができる
- 構造関係ライブラリの役割と仕組みを理解し、ニーズに合わせて編集ができる（Structure Libraryを除く）
- 適用設定を用いて、カットアウトやノッチを構造モデル上に配置できる
- 独自のプロファイルを作成し、利用することができる  
（開口、スティフナ、ブラケット、カットアウト、エンドカット、ノッチ）

## 受講条件

- NAPA Designerによる構造モデリングについて、基礎トレーニング相当の知識を保有していること

## 講義内容

1. 構造関係ライブラリの構築と運用方法
2. カットアウト、ノッチの適用設定
3. 独自プロファイル作成（開口、スティフナ、ブラケット、カットアウト、エンドカット、ノッチ）

# 独自のパラメトリック形状作成とStructure Libraryへの登録

## 本講座受講により行えるようになること

- 複雑な形状でも、ライブラリから簡単に挿入して**極めて効率的に**構造モデルを作成
- 形状だけでなく、思想まで**正確な**構造部材を作成（利用価値の高い詳細レベルの構造モデルを作成）
- 2次元CADに頼ることなく、NAPA Designer上で**直接3次元設計**を実施
- 参照する境界の変更に部材形状が追従する、**変更**に強いモデルを実現

## トレーニングによる習得できる具体的な知識・スキル

- Parametric Curve構文を用いた独自のパラメトリック形状の作成方法
- Structure Libraryの編集・登録方法

注) 本講義は、各社のエキスパートユーザーの方だけでなく、エンドユーザーの方にも習得して頂く価値のあるものです。  
敷居が高いと言われるParametric Curveですが、基礎から簡単に、体系的に理解できるようにカリキュラムを組んでおります。

## 受講条件

- NAPA Designerによる構造モデリングについて、基礎トレーニング相当の知識を保有していること

## 講義内容

1. Parametric Curve構文を用いた独自のパラメトリック形状の作成
2. Structure Libraryの編集・登録





# NAPA Draftingのカスタマイズと自動化

## 本講座受講により行えるようになること

- NAPA Draftingのテンプレートを整備して、自社仕様の図面を**正確に、かつ効率よく**作成
- AutoCADスクリプトの利用により、手間のかかる図面作成作業を**自動化**

## 習得できる具体的な知識・スキル

- レイヤーとStructureの役割を理解し、どのStructureをどのレイヤーに描くかを自由に設定できる
- 要素を組み合わせて独自のアノテーションを作成し、利用できる
- NAPA Draftingで必要となるAutoCADの設定を理解し、編集できる
- NAPA Draftingの簡単な自動化ができるAutoCAD スクリプトを作成できる

## 受講条件

- NAPA Draftingを用いた図面作成について、基礎トレーニング相当の知識を保有していること

## 講義内容

1. レイヤーとStructureの設定
2. アノテーションの設定
3. レイアウトの設定とテンプレートの完成
4. NAPA Draftingで必要となるAutoCADの設定
5. AutoCADのスクリプトを用いた自動化



# C#スクリプトによる業務効率化と高度化

## 本講座受講により行えるようになること

- C#スクリプトを用いて、各種作業を効率化・自動化できる
- C#スクリプトを用いて、UI操作ではできないような高度な作業を行える。
- C#スクリプトを用いるための前提となるNAPA Steelの基礎知識を理解できる。

## 習得できる具体的な知識・スキル

- C#スクリプトを用いるための前提となるNAPA Steelの基礎知識
- C#スクリプトの作成と利用方法

※ 本トレーニングでは、NAPA Designerのプラグイン作成は含まれていません。

## 受講条件

- C#などのプログラミング経験があること
- 【推奨】NAPA Designerを利用したモデリング作業など(特にNAPA Steelモデル)を一通り行えること

## 想定する参加者

- NAPA Steelユーザーで、今後自分でC# Scriptの作成を行いたい方
- NAPA Steelを触ったことはないシステム開発担当で、今後(社内ユーザーの依頼を受けて) C# Script開発を行う方

## 講義内容

1. C#スクリプトを用いるための前提となるNAPA Steelの基礎知識
2. NAPA C# APIの概要
3. NAPA Designerスクリプト (NAPA DesignerのScript EditorからのC#スクリプト実行)